

機構及び事務分掌

平成23年5月18日

市 民 局

目 次

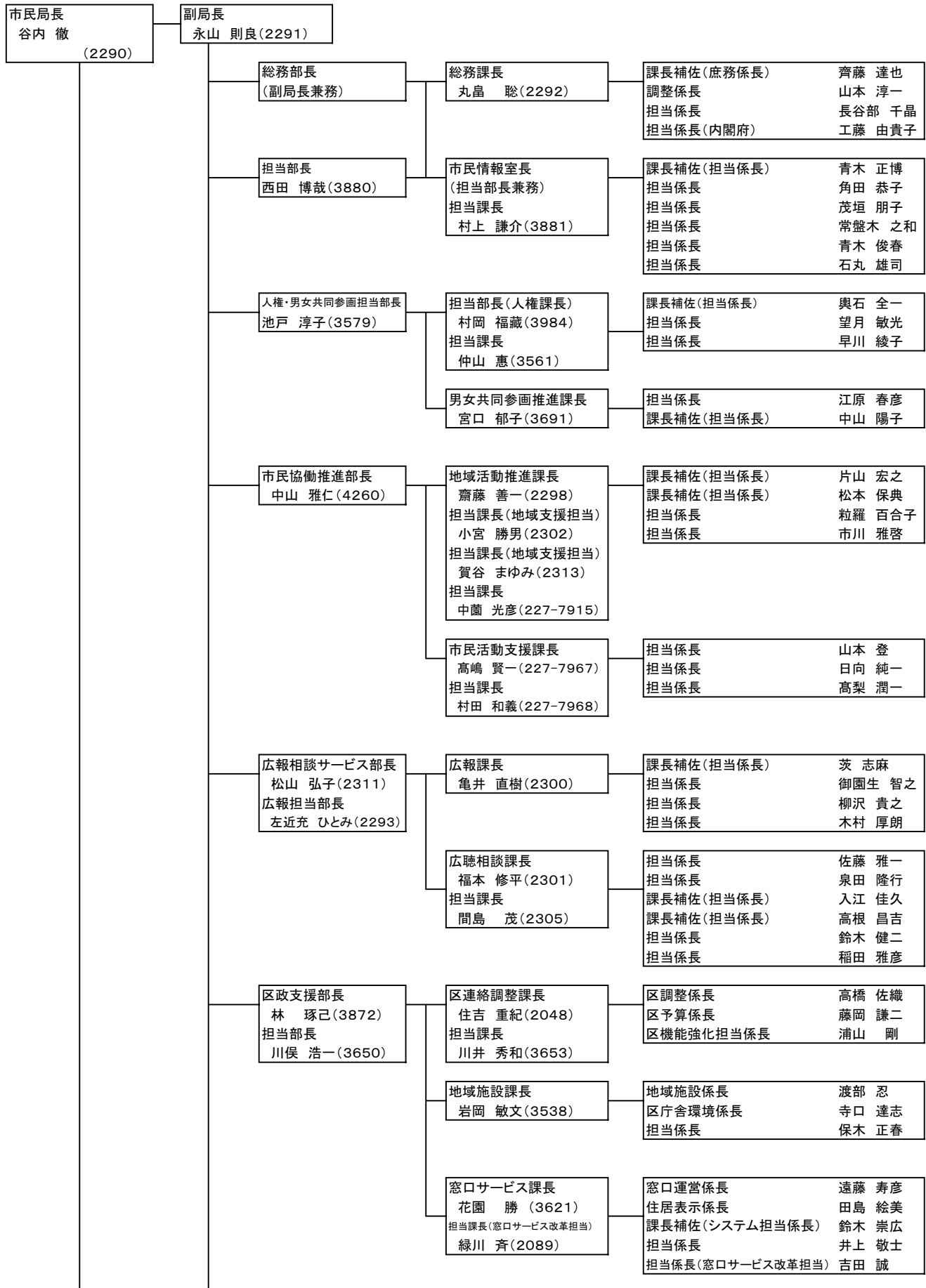
1 機構図

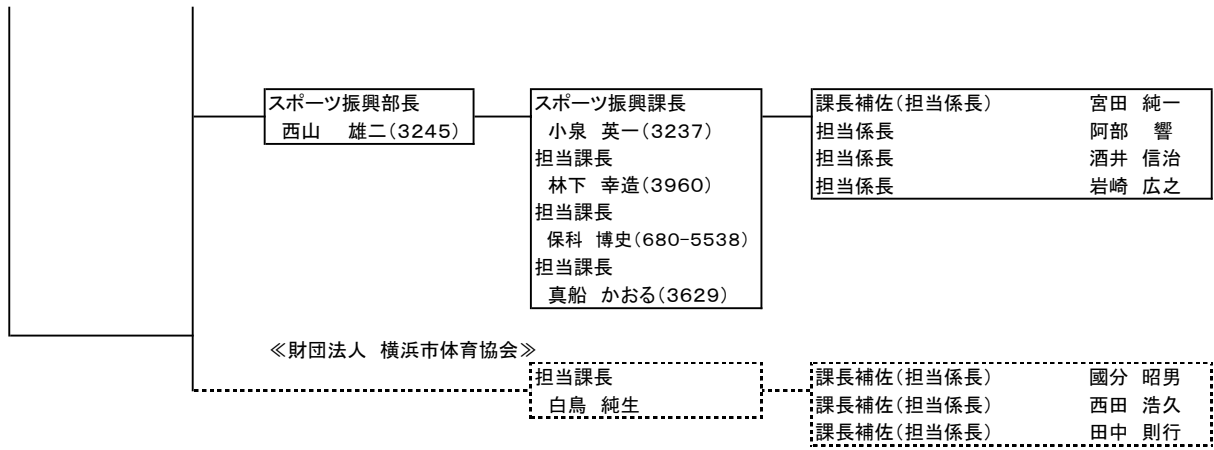
市民局	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 ページ
-----	------------------	-------

2 事務分掌

市民局	・・・・・・・・・・・・・・・・	3 ページ
-----	------------------	-------

市民局機構図





(注1) 表中、点線で囲まれた部分は、外郭団体への派遣職員を示します。
(注2) 表中の括弧内の数字は、内線番号を示します。

市民局事務分掌

総 務 部

総務課

- 1 局内の人事、文書、予算及び決算に関すること。
- 2 局内の事務事業の連絡調整に関すること。
- 3 局の危機管理に関すること。
- 4 他の部、課、室の主管に属しないこと。

市民情報室

- 1 情報公開制度に関すること。
- 2 個人情報の保護に関すること。
- 3 横浜市情報公開・個人情報保護審査会に関すること。
- 4 横浜市個人情報保護審議会に関すること。
- 5 刊行物その他の行政資料等の収集及び保管並びにこれらの情報提供に関すること。
- 6 その他市政情報の公開及び提供に関すること。

人権・男女共同参画担当

人 権 課

- 1 人権に関する施策の総合的な企画及び調整に関すること。
- 2 人権に関する調査及び研究に関すること。
- 3 人権に関する啓発及び研修に関すること（他の局の主管に属するものを除く。）。
- 4 同和対策事業に関すること。

男女共同参画推進課

- 1 男女共同参画に関する施策の総合的な企画及び調整に関すること。
- 2 男女共同参画に関する調査研究及び広報並びに相談に関すること。
- 3 横浜市男女共同参画審議会に関すること。
- 4 男女共同参画センターの運営管理に関すること。
- 5 財団法人横浜市男女共同参画推進協会に関すること。

市民協働推進部

地域活動推進課

- 1 地域活動に関する企画、調査及び調整に関すること。
- 2 市民自治組織との協働及びその支援に関すること。
- 3 市民主体の地域運営に関すること。
- 4 その他地域振興に関すること。
- 5 部内他の課の主管に属しないこと。

市民活動支援課

- 1 市民活動の推進に関すること。
- 2 協働推進に関する企画、調査及び調整に関すること。
- 3 特定非営利活動法人の設立、定款変更、合併の認証等に関すること。
- 4 横浜市市民活動推進委員会に関すること。
- 5 その他協働推進に関すること。

広報相談サービス部

広 報 課

- 1 広報に係る企画及び連絡調整に関すること。
- 2 横浜市広報企画審議会に関すること。
- 3 広報事項の収集及び編集に関すること。
- 4 広報印刷物の発行に係る調整、指導、助言等に関すること。
- 5 部内他の課の主管に属しないこと。

広聴相談課

- 1 市政に関する市民の要望、意見、陳情その他広聴に関すること。
- 2 要望事項等の整理及びその実施のため必要な連絡調整に関すること。
- 3 区民会議の活動の運営協力に関すること。
- 4 市民の相談に関すること。
- 5 庁内の案内に関すること。
- 6 区役所における広聴及び市民の相談に係る事務の連絡調整に関すること。
- 7 横浜市コールセンターに関すること。

区政支援部

区連絡調整課

- 1 区政に関する基本的な計画の立案及び進行管理に関すること。
- 2 区政に関する重要施策の総合的な企画及び調整に関すること。
- 3 個性ある区づくりの支援に関すること。
- 4 区政に関する機能の強化に関すること。
- 5 区役所の人事、組織、文書、予算及び決算の調整に関すること。
- 6 区長会議等に関すること。
- 7 区役所の所管区域に関すること。
- 8 区政に関する事務事業の連絡調整に関すること。
- 9 福祉保健センターの運営に係る連絡調整に関すること（他の局の主管に属するものを除く。）。
- 10 自衛官募集事務に係る連絡調整に関すること。
- 11 予算編成等における区の総合行政の実施に係る調整に関すること。
- 12 部内他の課の主管に属しないこと。

地域施設課

- 1 区庁舎等の整備に係る計画の立案及び調整に関すること。
- 2 区庁舎等の利便性の向上に関すること。
- 3 地区センター等の運営管理に係る企画、調査及び調整に関すること。
- 4 上郷森の家に関すること。
- 5 地区センター等の整備に関すること。
- 6 広場、遊び場等に係る事業の企画及び調整に関すること。

窓口サービス課

- 1 区役所の市民サービスの向上の推進に係る総合調整に関すること。
- 2 戸籍事務、住民基本台帳事務、印鑑登録事務、外国人登録事務等の総括、改善及び指導に関すること。
- 3 横浜市行政サービスコーナーに関すること。
- 4 横浜市本人確認情報等保護審議会に関すること。
- 5 住居表示に関すること。
- 6 市の区域に関すること。
- 7 区の区域に関すること（他の課の主管に属するものを除く。）。
- 8 町区域の設定並びに町区域及び字区域の廃止及び変更並びに町名の変更にに関すること。
- 9 町区域の設定並びに町区域及び字区域の廃止及び変更に伴う地番の整理に関すること。
- 10 横浜市住居表示審議会に関すること。

スポーツ振興部

スポーツ振興課

- 1 スポーツ・レクリエーション振興施策の総合的な企画、調整及び実施に関すること（他の局の主管に属するものを除く。）。
- 2 スポーツ・レクリエーション施設の整備及び運営に関すること（他の局の主管に属するものを除く。）。
- 3 スポーツ・レクリエーションイベントの企画、誘致及び開催に関すること（他の局の主管に属するものを除く。）。
- 4 区役所のスポーツ・レクリエーション振興の支援に関すること。
- 5 財団法人横浜市体育協会に関すること。
- 6 市民スポーツ・レクリエーション関係団体に関すること（他の局の主管に属するものを除く。）。
- 7 横浜市スポーツ振興基本計画の策定に関すること。
- 8 横浜市スポーツ振興審議会に関すること（教育委員会の主管に属するものを除く。）。
- 9 体育指導委員に関すること。

平成23年度

主要事業の概要

市民局

目 次

ページ

I 平成23年度市民局 事業概要について	4
II 平成23年度市民局予算総括表	9
III 事業別内訳	
1 市民総務費（3款1項1目）	10
(1) 情報公開推進等事業	
(2) 市民情報センター運営事業	
(3) 個人情報保護推進事業	
(4) 行政文書検索システム運用事業	
(5) 事務管理費等	
(6) 人件費	
2 人権・男女共同参画費（3款1項2目）	11
(1) 人権施策推進事業	
(2) 男女共同参画推進事業	
(3) 男女共同参画センター運営事業	
3 広報広聴費（3款1項3目）	12
(1) 「広報よこはま」発行事業	
(2) テレビ・ラジオ広報事業	
(3) インターネット広報事業	
(4) 「ハマジン」協働編集事業	
(5) 季刊誌「横濱」協働編集事業	
(6) 「暮らしのガイド」協働編集等事業	
(7) 交通広告活用事業	
(8) 緊急雇用創出事業	
(9) 「県のたより」配布事業	
(10) 市民の声事業	
(11) 広聴情報データベースシステム事業	
(12) 市民相談事業	
(13) 横浜市コールセンター事業	
(14) 「庁内報」発行事業等	
4 市民協働推進費（3款1項4目）	14
(1) 元気な地域づくり推進事業	
(2) 地域活動推進費	

- (3) 自治会町内会館整備助成事業
 - (4) 市民活動保険等事業
 - (5) 特定非営利活動法人設立認証等事務
 - (6) 市民活動推進事業
 - (7) 市民活動推進ファンド事業
- 5 スポーツ振興費（3款1項6目）・・・・・・・・・・ 16**
- (1) スポーツ関係団体支援事業
 - (2) スポーツ施設等管理運営事業
 - (3) スポーツイベント等開催事業
 - (4) 市民スポーツ振興事業
- 6 個性ある区づくり推進費（3款2項1目）・・・・・・・・ 18**
- (1) 自主企画事業費
 - (2) 区庁舎・区民利用施設管理費
 - (3) 区役所嘱託員経費等
 - (4) 緊急雇用創出事業
- 7 戸籍住民登録費（3款2項2目）・・・・・・・・・・ 19**
- (1) 戸籍住民登録事務費等
 - (2) 行政サービスコーナー運営事業
 - (3) 戸籍システム運用事業
 - (4) 戸籍システム関連業務支援拠点運営事業
 - (5) 住居表示整備等事業
 - (6) 魅力ある窓口づくり推進事業
 - (7) 住基法・入管法改正対応事業
- 8 地域施設費（3款2項3目）・・・・・・・・・・ 20**
- (1) 区庁舎再整備事業
 - (2) 区庁舎等耐震性強化事業
 - (3) 区庁舎設備等改修事業・床取得等
 - (4) 緊急雇用創出事業
 - (5) 地域施設整備等事業
 - (6) 上郷・森の家運営事業
 - (7) 子どもの遊び場遊具等予防保全事業
 - (8) 地区センター・公会堂等指定管理者選定事業

Ⅳ 参考資料 1

平成23年度 区編成予算(自主企画事業)	2 2
--------------------------------	-----

◎区編成予算区別状況一覧	2 2
◎鶴見区	2 3
◎神奈川区	2 4
◎西区	2 5
◎中区	2 6
◎南区	2 7
◎港南区	2 8
◎保土ヶ谷区	2 9
◎旭区	3 0
◎磯子区	3 1
◎金沢区	3 2
◎港北区	3 3
◎緑区	3 4
◎青葉区	3 5
◎都筑区	3 6
◎戸塚区	3 7
◎栄区	3 8
◎泉区	3 9
◎瀬谷区	4 0

Ⅴ 参考資料 2

平成22年度からの繰越事業(繰越明許費)	4 1
--------------------------------	-----

この冊子の中の表記で、【新】は、新規事業です。

Ⅰ 平成23年度 市民局 事業概要について

予算額の概要

平成23年度の市民局の一般会計の予算規模は、363億9,727万円、対前年度11億4,552万円、3.2%の増となっています。

(単位：千円)

区 分	平成23年度予算額	平成22年度予算額	増 減
一般会計	36,397,270	35,251,745	1,145,525 (3.2%)

(内訳は9ページの市民局予算総括表を御覧ください。)

予算の重点

平成23年度は、「横浜市中期4か年計画」の実質的な一年目となっています。計画が目指す「安心と活力があふれるまち・横浜」の実現に向け、政策を力強く実行し、明日の横浜を築く礎となる年と位置づけています。

平成23年度の市民局の一般会計予算は、厳しい財政状況の中にあっても、選択と集中を徹底し、市政運営の基本的な考え方を踏まえ、局運営方針の基本目標「“すべては市民の元気のために” つなぐ つくる まもる」を意識しながら、予算編成を行いました。

地域における課題解決に向けた取組の支援や、女性による市民力アップ、スポーツによる横浜の活性化など、「横浜市中期4か年計画」に掲げた目標を達成するための取組を推進していきます。

また、限られた財源の中で最大限の効果を発揮できるように、次の5つの項目を局の重点項目として編成しました。

- 1 元気のある地域づくりや協働の取組の推進
- 2 横浜の活力を高めるスポーツの振興
- 3 窓口サービスの向上と区庁舎等施設の安全確保や整備の推進
- 4 人権を尊重しあい、男女共同参画が進む社会づくりの推進
- 5 市内外への効果的な情報発信と市民の声の市政への反映推進

1 元気のある地域づくりや協働の取組の推進

地域の抱える課題が多様化・複雑化している中、いきいきとした地域コミュニティを形成し、地域が主体的に課題解決に取り組めるよう、市民協働の推進、地域の様々な活動への支援、区役所の地域支援機能の強化などを推進します。

(1) 元気な地域づくり推進事業 新規 中期4か年計画 33,000 千円 p.14

平成 22 年度まで実施してきた「身近な地域・元気づくりモデル事業」を踏まえ、より効果的に地域の取組を支援していきます。

地域が主体的・継続的に課題解決に取り組めるよう、地域運営補助金を創設し、団体間の連携を進め、地域活動を支援します。

また、それぞれの地域にあった支援が行えるよう、関係区局による地域支援会議で、情報の共有や支援策の検討等を行います。

(2) 市民活動推進事業 84,861 千円（前年度 168,775 千円） p.15

横浜市市民活動支援センターと各区の市民活動支援センターとの連携をより強化し、地域で活動する団体間の連携・協働を推進します。

(3) 市民活動推進ファンド事業 24,893 千円（前年度 26,388 千円） p.15

市民や企業等から寄附を募り、市民活動推進基金（よこはま夢ファンド）に積み立て、NPO法人等に助成するなど、資金面での諸課題解決に向けた支援を行います。

(4) 個性ある区づくり推進費 自主企画事業費

2,440,399 千円（前年度 2,514,790 千円） p.18

18 区役所で地域の特性やニーズに応じて、792 事業の多彩な取組を展開し、個性ある区づくりを進めます。

また、個性ある区づくり推進費の財源を活用し、局の協力を得ながら行う「区局連携事業」は、9 事業 65,107 千円（前年度 82,715 千円）を関係局予算に計上しています。

2 横浜の活力を高めるスポーツの振興

スポーツを観る・する機会を多く設け、スポーツ人口を増やすことにより、市民の皆様の健康を増進するとともに、地域活力の向上を図ります。

(1) トライアスロン世界選手権シリーズ横浜大会の開催

新規

中期4か年計画

20,000 千円 p.17

山下公園周辺をコースとしたトライアスロン世界選手権を開催し、スポーツの普及やシティセールスを図ります。

(当初 平成 23 年 5 月 14・15 日に開催予定 東日本大震災により 9 月 18・19 日に延期)

(2) 子どもの体力向上事業

中期4か年計画

1,500 千円 (前年度 500 千円) p.17

中休みや放課後等を活用して、子どもが関心を持てる運動やスポーツを紹介し、定期的に運動に親しむ機会や必要な用具等を提供することで、主体的、日常的に体を動かし、適切な運動習慣を身に付けることを目指します。

3 窓口サービスの向上と区庁舎等施設の安全確保や整備の推進

安心し信頼できる区役所となるよう、窓口サービスの満足度向上に向けた取組を進めます。

併せて、地域の災害対策本部となる区庁舎などの市民利用施設について、安全で利用しやすく親しまれる施設となるよう、耐震補強や建替え再整備等を行います。

(1) 区庁舎等の再整備・耐震性強化事業

中期4か年計画

(一部)

2,034,682 千円 (前年度 1,197,535 千円) p.20

区庁舎の再整備や耐震補強工事等を行います。

- 区庁舎再整備：瀬谷 (工事、庁舎しゅん工)、戸塚 (設計、工事)、
港南 (基本計画)、南・中 (調査)
- 区庁舎等耐震：西・中土木 (工事)、金沢 (調査)、緑 (設計)

(2) コミュニティハウス整備事業

中期4か年計画

232,484 千円 (前年度 345,035 千円) p.21

地域活動や交流の拠点となる、コミュニティハウスの整備を行います。

- 鶴見中央 (土地費相当額)、別所 (しゅん工)、浅間 (解体工事)、旧矢沢小 (設計)

(3) 住基法・入管法改正対応事業

829,576 千円 (前年度 79,645 千円) p.19

住民基本台帳法 (住基法)・出入国管理及び難民認定法 (入管法) の改正 (平成 24 年度施行予定) により、外国人住民を市町村の住民基本台帳に登載することなどが定められたため、住民記録システムの改修等を進めます。

4 人権を尊重しあい、男女共同参画が進む社会づくりの推進

市民一人ひとりが互いに人権を尊重する社会の実現を目指して、市民の皆様や事業者への啓発、職員研修など人権施策を推進します。

また、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画する社会の実現を目指して、働きやすい職場づくりの企業支援、女性に対する暴力防止などに取り組みます。

(1) 犯罪被害者等支援事業 [人権施策推進事業の一部] **新規** 560 千円 p. 11

犯罪の被害に遭われた方々等に対する支援内容を検討し、相談窓口の開設準備に取り組みます。

(2) 男女共同参画推進事業 19,337 千円 (前年度 34,276 千円)

男女が互いに人権を尊重し、あらゆる分野に対等に参画できる社会を目指して、「第3次横浜市男女共同参画行動計画」及び「横浜市 DV 施策に関する基本方針及び行動計画」に基づき施策を推進します。

〔主な事業〕

① 男女共同参画トップセミナー **新規** **中期4か年計画** 3,000 千円 p. 11

各界で活躍する女性トップリーダーによる、働く女性を対象としたキャリアアップ講座等を開催します。

② よこはまグッドバランス賞 **中期4か年計画**

2,305 千円 (前年度 3,745 千円) p. 11

女性の能力を活かし、男女ともに働きやすい職場づくりを積極的に進める事業所を認定・表彰し、その取組を広く紹介することで、他の事業所への普及啓発を図ります。

③ 女性に対する暴力の根絶に向けた事業 **中期4か年計画**

7,960 千円 (前年度 13,656 千円) p. 11

DV 基本計画を推進するため、DV 施策推進会議を開催するとともに、性別による差別等の相談や、暴力防止キャンペーンを実施します。また、若い世代から暴力を防止するよう、デート DV 防止講座を市内高等学校等で実施します。

5 市内外への効果的な情報発信と市民の声の市政への反映推進

市民の皆様が必要とする市政情報を分かりやすく、正確・確実にお伝えするとともに、横浜の魅力を市内外へ発信します。

併せて、各種広聴事業を通じて把握した市民ニーズを、市民サービス向上や施策反映につなげます。

また、適正で円滑な情報公開を進めるとともに、個人情報保護施策を推進します。

(1) 「広報よこはま」発行事業 273,455 千円 (前年度 268,742 千円) p. 12

「広報よこはま」市版を発行し、市の施策や事業を周知します。また、外国人市民向けに、記事面に掲載している情報を7言語に翻訳し、ホームページ上で発信します。

(2) インターネット広報事業 **中期4か年計画** 9,250 千円 (前年度 11,550 千円) p. 12

市ホームページを高齢者や障害のある方を含め、誰にでも使いやすく、分かりやすいものに整備します。また、ホームページ上での多言語による情報提供を推進します。

(3) 横浜市コールセンター事業 197,080 千円（前年度 197,111 千円） p.13

市政や生活情報など多様な問い合わせを朝 8 時から夜 9 時まで年中無休で受け付けます。また、区役所の代表電話交換業務を代行します。

☆ 緊急経済対策への取組

昨今の経済状況の悪化に伴う対策として、本市では緊急経済対策を実施していますが、その一環として、市民生活の不安などの解消に向けた市民相談の充実や雇用創出のための事業に取り組めます。

(1) 法律等特別相談の実施 [市民相談事業の一部]

2,495 千円（前年度 2,505 千円） p.13

市民の抱える問題の解決や生活の不安解消に向け、交通の利便性のよい場所などで、専門家による法律等特別相談を引き続き実施します。

(2) 緊急雇用創出事業 144,757 千円（前年度 105,864 千円） p.13、18、20

緊急雇用創出事業として、広報や区庁舎管理等に関する事業を市民局で計上しています。

① 市民局が実施する事業

1 事業 ウェブ活用推進事業 75,023 千円

② 各区が実施する事業のうち市民局に予算計上している事業

14 区 18 事業 合計 69,734 千円

II 平成23年度 市民局予算総括表

単位：千円

科 目	23年度予算額	22年度予算額	差引増△減	前年比 %	増減の主な理由
市民総務費	13,394,050	13,274,985	119,065	0.9	人件費 124,271千円増
人権・男女共同参画費	694,283	738,538	△44,255	△6.0	「人権施策基本指針」の見直し等 △4,000千円 男女共同参画推進事業 △14,939千円 男女共同参画推進協会補助金 △21,723千円
広報広聴費	950,129	869,082	81,047	9.3	広報よこはま発行事業 4,713千円増 広聴情報データベースシステム 4,267千円増 緊急雇用創出事業 75,023千円増
市民協働推進費	1,437,141	1,548,161	△111,020	△7.2	瀬谷区民活動センター移転整備 △69,602千円 自治会町内会館整備助成事業 △18,303千円 地域デビュー応援フェア △6,525千円
スポーツ振興費	1,335,504	1,309,754	25,750	2.0	スポーツ施設管理運営費 41,086千円増 トライアスロン世界選手権シリーズ横浜大会 20,000千円 スポーツ関係団体支援費 △29,086千円
個性ある区づくり推進費	14,208,288	14,781,542	△573,254	△3.9	自主企画事業費 △74,391千円 区庁舎・区民利用施設管理費 △291,046千円 区役所嘱託員経費等 △95,226千円
戸籍住民登録費	1,671,287	985,580	685,707	69.6	住基法・入管法改正対応事業 749,931千円増 戸籍住民登録事務費等 △24,429千円 住居表示整備等事業 △9,547千円
地域施設費	2,706,588	1,744,103	962,485	55.2	瀬谷区総合庁舎整備事業 367,239千円増 区庁舎等耐震性強化事業 451,398千円増 (西区総合庁舎、中土木事務所の耐震補強工事) 区庁舎設備等改修事業 249,721千円増 (神奈川区総合庁舎ESCO事業) コミュニティハウス整備事業 △112,551千円
合 計	36,397,270	35,251,745	1,145,525	3.2	

※ 文化振興費は、局再編成により文化観光局へ移管しました。

Ⅲ 事業別内訳

1	(3款1項1目) 市民総務費	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
		千円	千円	千円	国・県	市債	その他	一般財源
		13,394,050	13,274,985	119,065	0	0	5,512	13,388,538

市政に関する情報公開の推進及び本市が取り扱う個人情報の保護、人件費等庶務的経費等に要する経費です。

(1) 情報公開推進等事業 9,454千円 (前年度9,474千円)

ア 情報公開請求に対する行政文書の開示を行う情報公開請求制度を円滑、適正に運用するとともに、市政に関する情報の公表・提供や審議会等の会議の公開などを進め、総合的な情報公開を推進します。

イ 個人情報保護の趣旨を踏まえ、個人情報の開示、訂正、利用停止を行う個人情報本人開示等請求制度を運用します。

ウ 行政文書の開示請求や個人情報の本人開示請求等に対する決定についての不服申立てに係る諮問を審議する「横浜市情報公開・個人情報保護審査会」を運営します。

(横浜市の保有する情報の公開に関する条例、横浜市個人情報の保護に関する条例)

(2) 市民情報センター運営事業 12,229千円 (前年度15,764千円)

本市の情報公開の総合窓口として、市政に関する情報を広く提供するとともに、情報公開制度の説明や行政文書の開示請求及び個人情報の本人開示請求の受付、開示等を行う市民情報センターを運営します。また、市政に関する総合的な情報提供の一環として、市民情報センター内の刊行物サービスコーナーにおいて、本市等が作成した刊行物等の有償頒布を行います。

(3) 個人情報保護推進事業 3,289千円 (前年度3,961千円)

本市の個人情報取扱事務の委託や電子計算機処理等が適正に行われるよう審議する「横浜市個人情報保護審議会」や、本市の個人情報取扱事務を外部委員により実地に検査・評価する「横浜市個人情報保護に関する第三者評価委員会」を運営するなど、個人情報保護施策を推進します。

(横浜市個人情報の保護に関する条例)

(4) 行政文書検索システム運用事業 10,791千円 (前年度11,017千円)

文書管理・電子申請両システムとの連携により、行政文書の目録情報の検索及び検索した文書の開示請求をホームページ上から常時行えるシステムを運用します。

(5) 事務管理費等 8,149千円 (前年度8,902千円)

局全体の円滑な業務執行に資するため、庶務事務等に要する経費を計上するほか職員研修など人材育成を行います。

(6) 人件費 13,350,138千円 (前年度13,225,867千円)

市民局及び区役所戸籍課等の職員人件費です。

一般職員 1,457人

再任用職員 164人

2	(3款1項2目) 人権・男女共同 参画費	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
					国・県	市債	その他	一般財源
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		694,283	738,538	△44,255	15,720	0	8,798	669,765

人権及び男女共同参画に関する施策の企画・調整及び推進に要する経費です。

(1) 人権施策推進事業

43,313千円

(前年度47,400千円)

一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会の実現を目指して、人権に関する施策の総合的な企画・調整を行うとともに、人権キャンペーンや講演会、広報よこはま人権特集号の発行等人権啓発事業、職員の人権啓発研修など人権施策を推進します。

また、犯罪の被害に遭われた方々等に対する支援内容を検討し、相談窓口の開設準備に取り組めます。

(2) 男女共同参画推進事業

19,337千円

(前年度34,276千円)

男女が互いに人権を尊重し、あらゆる分野に対等に参画できる社会を目指して、平成22年度に策定した「第3次横浜市男女共同参画行動計画」及び「横浜市DV施策に関する基本方針及び行動計画」に基づき、よこはまグッドバランス賞による企業支援や女性に対する暴力の根絶に向けた事業の充実を図るほか、庁内においては「女性ポテンシャル発揮プログラム」等により、施策を総合的かつ計画的に推進します。

また、新たに、「男女共同参画トップセミナー」を開催し、女性のキャリアアップやネットワークづくりを支援します。

ア 行動計画の推進等	4,882千円
イ よこはまグッドバランス賞 ～働きやすく子育てしやすい横浜の企業支援～	2,305千円
ウ 女性に対する暴力の根絶に向けた事業 ～暴力防止キャンペーン、若者向け暴力予防啓発～	7,960千円
エ 庁内の男女共同参画の推進 ～女性ポテンシャル発揮プログラム～	1,190千円
オ 男女共同参画トップセミナー【新】	3,000千円

(3) 男女共同参画センター運営事業

631,633千円

(前年度656,862千円)

市内に3館ある男女共同参画センターを拠点として、女性の社会参画や自立に向けた支援、男性の地域活動や子育てへの参画など、男女共同参画社会の形成を目指した具体的な事業や、市民の自主的な活動の支援を指定管理者制度のもと、展開します。

ア 男女共同参画センター運営費	545,254千円
イ 財団法人横浜市男女共同参画推進協会補助金	86,379千円

3	(3款1項3目) 広報広聴費	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
		千円	千円	千円	国・県	市債	その他	一般財源
		950,129	869,082	81,047	213,916	0	13,116	723,097

広報・広聴相談事業等に要する経費です。

各広報媒体を効果的に活用し、市民の皆様が必要とする市政情報を分かりやすく、正確・確実にお伝えするとともに、横浜の魅力を市内外へ発信します。

また、市民ニーズを把握する「市民の声」事業や、市民の問い合わせに対応するサービスを行う横浜市コールセンター事業など、様々な広報・広聴事業を展開します。

(1) 「広報よこはま」発行事業 273,455千円 (前年度268,742千円)

本市の施策、事業等を市民へ周知するための市の基幹的な広報媒体として、「広報よこはま」市版を毎月1日に発行し、各世帯へ配布します。

また、記事面の情報を多言語に翻訳し、本市のホームページで提供します。

(2) テレビ・ラジオ広報事業 117,743千円 (前年度117,743千円)

市政課題や生活情報を映像や音声を通じて分かりやすく伝えるため、テレビ・ラジオによる市政広報番組を毎週放送します。

(3) インターネット広報事業 9,250千円 (前年度11,550千円)

市民の皆様が必要とする情報を適時・的確に提供するとともに、より使いやすいホームページとするための事業を実施します。

(4) 「ハマジン」協働編集事業 19,905千円 (前年度19,915千円)

民間と協働で編集するフリーペーパー「ハマジン」を年6回発行し、地域情報や横浜のイメージアップにつながる情報を市内外に発信します。

(5) 季刊誌「横濱」協働編集事業 4,763千円 (前年度4,763千円)

郷土意識の醸成やシティセールスを目的として、横浜の魅力や歴史、地域・文化情報などを読みものとして掘り下げて紹介する季刊誌「横濱」を民間事業者と協働で編集し、有償で販売します。

(6) 「暮らしのガイド」協働編集等事業 9,608千円 (前年度9,113千円)

日常生活にかかわりのある市の制度、窓口、施設などの行政情報と、民間情報を合わせて掲載した生活情報誌「暮らしのガイド」を民間事業者と協働で編集し、転入者・希望者に配布します。

(7) 交通広告活用事業 13,829千円 (前年度13,829千円)

電車の広告枠を活用し、横浜の魅力や本市の重要施策を市内外に広報します。

(8) 緊急雇用創出事業

75,023千円

国の緊急雇用制度のもと、ウェブデザイナー等を雇用し、アクセシビリティ向上の取組や、ユーザビリティに配慮したホームページの改善に向けた調査・研究等を行います。

(9) 「県のたより」配布事業

130,560千円

(前年度130,560千円)

県の依頼を受けて「県のたより」を配布します。

(10) 市民の声事業

3,877千円

(前年度5,543千円)

「ぬくもりトーク」、「ティー・ミーティング～ようこそ市長室へ～」や「市民からの提案」などの各種広聴事業を通じて市民の声を幅広く受け止め、市政に反映します。

(11) 広聴情報データベースシステム事業

12,532千円

(前年度8,265千円)

寄せられた市民の声を整理し、情報提供するために広聴情報データベースシステムを運用します。

(12) 市民相談事業

46,083千円

(前年度46,587千円)

市政相談をはじめ、弁護士、司法書士、交通事故相談員等の専門相談員による相談を実施します。

さらに近年の経済状況などを勘案し弁護士、社会保険労務士等による特別相談を実施します。

(13) 横浜市コールセンター事業

197,080千円

(前年度197,111千円)

市役所や区役所の各種手続、イベント、施設等の市政情報や生活情報など様々な市民からの問い合わせに、朝8時から夜9時まで年中無休で対応する横浜市コールセンター事業を実施します。また、区役所の代表電話業務の代行を行います。

(14) 「庁内報」発行事業等

36,421千円

(前年度35,361千円)

「庁内報」発行経費及び広報・広聴事務費

4	(3款1項4目) 市民協働推進費	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
		千円	千円	千円	国・県	市債	その他	一般財源
		1,437,141	1,548,161	△111,020	0	0	28,227	1,408,914

協働の取組の推進、地域活動及び市民活動の活性化に向けた支援の取組に要する経費です。

(1) 元気な地域づくり推進事業【新】 33,000千円

身近な地域において、自治会町内会をはじめとした様々な主体が連携・協働しながら、課題解決に取り組み、魅力ある暮らしやすい地域をつくっていくための支援を行います。

ア 地域の取組に対する支援

地域が主体的・継続的に課題解決に取り組めるよう、地域運営補助金を創設し、団体間の連携を進め、地域活動を支援します。

イ 地域支援機能の強化

それぞれの地域に合った支援が行えるよう、関係区局による地域支援会議で、情報の共有や支援策の検討等を行います。また、広報や研修等を行います。

(2) 地域活動推進費 1,157,977千円 (前年度1,157,901千円)

自治会町内会等が実施する公益的活動の経費の一部を補助します。

また、市町内会連合会・区連合町内会の運営支援及び地域活動への加入促進、活性化促進事業に対する支援を行います。

ア 自治会町内会 活動費の1/3助成(上限:700円×加入世帯数)

イ 地区連合町内会 活動費の1/3助成(上限:170円×加入世帯数+5万円)+12万円

ウ 市・区連合町内会 [団体運営費]1団体当たり110万円(上限)
[加入・活性化促進事業費]1団体当たり90万円(上限)

エ 自治会町内会加入促進「きっかけづくり」事業(1,000千円)

活動の担い手が増え、より活発な地域活動が行われるよう自治会町内会への参加を促進していきます。

(3) 自治会町内会館整備助成事業 103,719千円 (前年度122,022千円)

自治会町内会が整備する会館の建設費の一部を補助します。

併せて、自治会町内会が公園内に整備する集会所の建設費の一部を補助します。

ア 補助率

建設費の2分の1

イ 補助の種類 [補助予定件数]

(ア) 新築(うち公園集会所1件) [12件]

(イ) 増築・改修 [2件]

(ウ) 修繕(補助対象工事費1,000千円以上を対象) [9件]

(4) 市民活動保険等事業

18,009千円

(前年度18,822千円)

市民の皆様が安心してボランティア活動ができるよう、市民活動保険事業を実施します。

(5) 特定非営利活動法人設立認証等事務

14,682千円

(前年度15,303千円)

特定非営利活動促進法に基づく事務について、横浜市内にのみ事務所を置く法人を対象に、法人の設立認証、定款変更等の認証、各種届出及び事業報告書等の受理などを行います。

(6) 市民活動推進事業

84,861千円

(前年度168,775千円)

市民活動の活性化を推進するため、横浜市市民活動支援センター事業、新たな人材発掘・育成事業、横浜市市民活動推進委員会の運営等を行います。

ア 横浜市市民活動支援センター事業

市民活動に関する相談対応、情報発信・収集、活動場所・作業場の提供、講座・イベントの開催、区版支援センターの運営支援などを行う運営事業と、市民活動に関する人材育成や新たな担い手発掘などを行う自主事業を実施します。

イ 新たな人材発掘・育成事業

多様な世代を対象に、地域活動や市民活動に参加するきっかけとなる取組を進めます。

ウ 横浜市市民活動推進委員会

市民活動の推進に関し必要な事項を調査審議します。

エ 災害ボランティア支援事業

災害ボランティア組織とのネットワークづくり、情報提供などの事業を実施します。

(7) 市民活動推進ファンド事業

24,893千円

(前年度26,388千円)

市民や企業等から寄附を募り、市民活動推進基金（よこはま夢ファンド）に積み立て、市民活動団体運営における資金面での諸課題解決に向けた支援を行います。

ア 市民活動推進ファンド

あらかじめ登録したNPO法人に助成するなどの支援を行います。

イ 市民活動団体運営支援講座・相談会

市民活動団体への運営支援として税務・労務にかかわる講座や相談会を実施します。

5	(3款1項6目) スポーツ振興費	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
		千円	千円	千円	国・県	市債	その他	一般財源
		1,335,504	1,309,754	25,750	0	0	73,838	1,261,666

子どもから高齢者まで市民誰もが健康で心豊かな生活を送ることができるよう、関係諸団体や市民との連携・協働を進めながら、身近な場所で気軽にスポーツが行える環境を整えていきます。

そのために、体育館やプール等スポーツ施設の管理運営、イベントの企画・開催、情報の収集・発信や人材の養成など各種事業を実施するとともに、子どもの体力向上にも取り組みます。また、世界のトップレベルの選手による競技大会の開催を通じて、横浜の発信力を高めていきます。

(1) スポーツ関係団体支援事業

675,275千円 (前年度704,361千円)

関係諸団体との連携・協働の下に市民スポーツの普及・振興を図るため、地域レベルでの活動を支援するとともに、運営費の一部を補助します。

ア	財団法人横浜市体育協会補助金	655,941千円
イ	社団法人横浜市レクリエーション協会補助金	18,334千円
ウ	横浜市婦人スポーツ団体連絡協議会補助金	1,000千円

(2) スポーツ施設等管理運営事業

542,475千円 (前年度502,589千円)

横浜国際プール、横浜文化体育館、平沼記念体育館等の管理運営を行うとともに、各区スポーツセンターや屋内・屋外プール等の保守点検及び修繕工事を実施します。また、市民利用施設予約システムの運営を行います。

ア	横浜国際プール管理運営費	350,951千円
イ	横浜文化体育館管理運営費	68,790千円
ウ	平沼記念体育館管理運営費	22,159千円
エ	大規模スポーツ施設等調査費	2,000千円
オ	施設・設備維持修繕費等	52,575千円
カ	市民利用施設予約システム運営費	46,000千円

(3) スポーツイベント等開催事業

70,575千円 (前年度49,408千円)

国際都市・横浜にふさわしい質の高いスポーツイベントの開催やスポーツに参加する機会の提供を通じて、市民のスポーツに対する理解と関心の向上を図るとともに、市民の一体感の醸成やシティ・セールスの推進を図ります。

ア	横浜マラソン大会開催費	15,000千円
イ	市民参加スポーツイベント等開催費	20,695千円
(ア)	横浜元気！！スポーツ・レクリエーションフェスティバル	4,750千円
(イ)	YOKOHAMAビーチスポーツフェスタ	2,000千円
(ウ)	横浜シーサイドトライアスロン	2,500千円
(エ)	こどもマリンスクール	2,900千円
(オ)	市民体育大会等	8,545千円

ウ 横浜熱闘倶楽部事業費	5,000千円
エ 観戦型スポーツイベント等開催費	29,880千円
(ア) 全日本少年軟式野球大会	5,200千円
(イ) 国際ジュニア体操競技大会	3,000千円
(ウ) 全日本ジュニア体操競技選手権大会	1,000千円
(エ) トライアスロン世界選手権シリーズ横浜大会	20,000千円
(オ) 連絡調整費等	680千円

(4) 市民スポーツ振興事業

47,179千円

(前年度53,396千円)

市民の皆様が身近な場所でスポーツに親しむことのできる環境づくりを通じて生涯スポーツ社会を実現するため、総合型地域スポーツクラブの設立・運営に対する支援やヨコハマさわやかスポーツの普及・振興を進めるとともに、その担い手となるスポーツ指導者の養成や体育指導委員に対する支援に取り組みます。

また、子どもの体力向上に取り組むとともに、一貫したシステムによるジュニア選手の発掘・育成・強化を図るほか、スポーツを通じた各国市民との交流・親善を深めます。

このほか、JOC（日本オリンピック委員会）とのパートナー都市協定に基づき、オリンピック選手を招いての各種行事を開催します。

ア 地域スポーツ支援事業費	20,581千円
(ア) 総合型地域スポーツクラブ支援費	5,440千円
(イ) ヨコハマさわやかスポーツ普及事業	7,640千円
(ウ) 人材養成・活用事業	5,500千円
(エ) 子どもの体力向上事業	1,500千円
(オ) 連絡調整費等	501千円
イ 体育指導委員支援費	6,236千円
ウ スポーツ振興審議会費	2,220千円
エ ジュニア競技力向上事業費	12,942千円
オ スポーツ国際交流事業費	4,500千円
カ JOCパートナー都市協定事業費	700千円

6	(3款2項1目) 個性ある 区づくり推進費	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
		千円	千円	千円	国・県	市債	その他	一般財源
					千円	千円	千円	千円
		14,208,288	14,781,542	△573,254	67,535	0	566,702	13,574,051

身近な市民サービスの拠点である区役所が、地域の特性やニーズに応じて個性ある区づくりを推進するための経費です。

平成23年度予算編成においては、事業内容の見直しや経費の縮減にも取り組みながら、地域とともに課題解決に取り組めるよう、様々な事業を実施します。

また、個性ある区づくり推進費の財源を活用し局の協力を得ながら行う「区局連携事業」を実施します。

(1) 自主企画事業費 **2,440,399千円** (前年度2,514,790千円)

地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費

〔区局連携事業 (事業所管局計上分) (65,107千円) (前年度82,715千円) 〕
 区の財源を活用し、局が予算を編成・執行する区局連携事業は、事業所管局へ計上しています。

(2) 区庁舎・区民利用施設管理費 **9,580,466千円** (前年度9,871,512千円)

区庁舎・区民利用施設の管理運営に係る経費

(単位：千円)

施 設 の 種 類 等	予 算 額	備 考
区庁舎等	1,795,325	総合庁舎(18)行政サービスコーナー(13)
区版市民活動支援センター	148,251	18か所
土木事務所	123,171	18か所
公会堂	430,195	18か所 (7館指定管理者導入)
地区センター等	2,987,955	地区センター(79)集会所(5)スポーツ会館(11)
コミュニティハウス	1,095,013	112か所
老人福祉センター等	867,688	老人福祉センター(18)老人憩いの家(4)
区スポーツセンター	789,684	18か所
区民文化センター	875,721	8か所
こどもログハウス	137,022	18か所
区庁舎・区民利用施設修繕費	144,367	
その他(広場・遊び場等)	186,074	
合 計	9,580,466	

(3) 区役所嘱託員経費等 **2,128,818千円** (前年度2,224,044千円)

区役所の嘱託員経費、産休・育休等アルバイト経費等

(4) 緊急雇用創出事業 **58,605千円** (前年度71,196千円)

緊急雇用創出事業を各区において実施します。そのうち、区庁舎管理等に関する緊急雇用創出事業を個性ある区づくり推進費に計上しています。(13区17事業)

7	(3款2項2目) 戸籍住民登録費	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
		千円	千円	千円	国・県	市債	その他	一般財源
		1,671,287	985,580	685,707	168,711	0	1,397,689	104,887

戸籍住民登録事務、行政サービスコーナーの運営、戸籍システム運用、住居表示整備等の事業を円滑に実施していくとともに、魅力ある窓口づくり推進事業に取り組み、より一層の窓口サービスの向上と効率化を図ります。

(1) 戸籍住民登録事務費等 428,434千円 (前年度452,863千円)

戸籍住民登録事務、印鑑証明事務、外国人登録事務などのほか、証明発行窓口の運営も含めた戸籍課の業務を円滑に実施します。

(2) 行政サービスコーナー運営事業 22,202千円 (前年度23,091千円)

市内13か所の行政サービスコーナーを運営します。

(3) 戸籍システム運用事業 156,997千円 (前年度158,616千円)

平成20年度に稼働した戸籍システムについて、稼働状況監視や障害対応等の運用支援作業、また機器やソフトウェアの保守作業を引き続き民間事業者に委託し、安定運用を図ります。

(4) 戸籍システム関連業務支援拠点運営事業 216,742千円 (前年度224,152千円)

区で受け付けた届出書の内容について戸籍システムへの入力作業等を行う、戸籍システム関連業務支援拠点の運営を、引き続き民間事業者に委託します。

(5) 住居表示整備等事業 9,866千円 (前年度19,413千円)

住所を分かりやすくするため、町の区域を整理し、住所の表示を改めます。
平成23年度は、平成24年度の泉区和泉町地区の住居表示実施に向けて作業を進めます。

(6) 魅力ある窓口づくり推進事業 7,470千円 (前年度10,249千円)

親切・丁寧・迅速な窓口対応、市民の皆様に分かりやすい説明など、区役所の窓口サービスの一層の向上に向けて、窓口サービス満足度調査、外部評価、区と連携した職員研修等を実施します。

(7) 住基法・入管法改正対応事業 829,576千円 (前年度79,645千円)

平成24年度の施行が予定されている、「住民基本台帳法」及び「出入国管理及び難民認定法」の改正への対応を行います。

平成23年度は、平成22年度に行なった影響調査の結果を基に、住民記録システムの改修や事務運用面の見直し等の準備作業を進めます。

〔※ なお、上記とは別に、総務局情報システム課で契約する、機器・通信回線等の経費に係る予算として68,736千円を計上〕

8	(3款2項3目) 地域施設費	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
					国・県	市債	その他	一般財源
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		2,706,588	1,744,103	962,485	98,524	730,000	66,665	1,811,399

区庁舎等の庁舎施設及び地区センター等の市民利用施設の整備・改修に要する経費です。

(1) 区庁舎再整備事業 1,534,809千円 (前年度1,149,060千円)

耐震補強が必要とされ、補強工事の実施が困難な区庁舎について、移転整備を行います。

- ア 瀬谷区総合庁舎 490,429千円
P F I 事業契約に基づく、設計・建設、維持管理などのサービス対価の支払を行います。
〔公会堂 平成22年10月 しゅん工〕
〔区役所・消防署 平成24年1月 しゅん工予定〕
- イ 戸塚区総合庁舎 1,010,200千円
再開発事業の公益施設への移転整備に向け、設計・工事を行います。
また、区庁舎部分の保留床土地を先行して取得します。
- ウ 港南区総合庁舎 5,000千円
行政機能用地を活用した移転建替えに向け、基本計画の策定を行います。
- エ 南区総合庁舎 25,340千円
旧市大浦舟校舎跡地への移転整備に向け、P F I を含む様々な事業手法検討調査を行います。
- オ 中区庁舎 3,840千円
旧労働基準局を活用した整備に向け、調査・検討及び建物の維持管理を行います。

(2) 区庁舎等耐震性強化事業 499,873千円 (前年度48,475千円)

耐震診断の結果、補強が必要とされた区庁舎及び土木事務所の耐震補強を行います。

- ア 西区総合庁舎 132,154千円
平成23年度から耐震補強工事を行います。
- イ 金沢区総合庁舎 5,000千円
整備計画を進めるための調査・検討を行います。
- ウ 緑区総合庁舎 31,913千円
耐震補強計画を進めるための基本設計を行います。
- エ 中土木事務所 330,331千円
耐震補強工事を行います。
- オ その他(事務費) 475千円

(3) 区庁舎設備等改修事業・床取得等 294,789千円 (前年度46,068千円)

区庁舎、公会堂、土木事務所の利便性の向上、環境整備のため、機能向上等を行います。

- ア 区庁舎駐車場施設改修 9,038千円
区庁舎駐車場の施設改善等を行います。
- イ 神奈川区総合庁舎E S C O事業(長寿命化対策) 275,751千円
神奈川区総合庁舎の設備改修(民間のノウハウを活用したE S C O(エスコ)事業)
- ウ 旧鶴見県税事務所床取得調整事業 6,000千円
平成23年度は賃借とし、床取得に向けて調整を行います。
- エ 都筑土木事務所仮設作業所 4,000千円
平成19年度の総合庁舎内への移転後、作業所が未整備であり、仮設建物を賃借します。

(4) 緊急雇用創出事業 11,129千円 (前年度21,949千円)

瀬谷区庁舎建替えに伴い、区庁舎駐車場が使用できなくなるため、臨時駐車場への案内を行います。

(5) 地域施設整備等事業

238,548千円 (前年度345,835千円)

市民の様々な地域活動や交流の拠点となる施設として、コミュニティハウスの整備等を行います。

ア 別所コミュニティハウス(仮称) (南区) 138,465千円

新築工事に着手します。《南が丘中学校敷地の一部を活用》

イ 旧矢沢小コミュニティハウス(仮称) (栄区) 4,751千円

実施設計を行います。《旧矢沢小学校跡地に整備》

ウ 鶴見中央コミュニティハウス (鶴見区) 52,327千円 (23~25年度の3年分割)
3年間の分割で土地費相当額を支出します。

《鶴見駅東口地区再開発ビル床取得(シークレイン2階)》

エ 浅間コミュニティハウス (西区) 36,941千円

コミュニティハウスが設置されている、老朽化した福祉総合センターの解体工事を行います。(健康福祉局と共管)

オ 菊名地区センター (港北区) 5,764千円

耐震補強工事のための基本設計を行います。

カ 都田地区センター(仮称) (都筑区) 300千円

都筑区都田方面への新設整備について、検討を行います。

(6) 上郷・森の家運営事業

120,700千円 (前年度122,700千円)

市民の宿泊や小学生の体験学習等に活用している栄区の「上郷・森の家」の運営を行います。

(7) 子どもの遊び場遊具等予防保全事業

5,000千円 (前年度5,000千円)

遊具等の予防保全を行います。

(8) 地区センター・公会堂等指定管理者選定事業

1,740千円 (前年度5,016千円)

指定管理者の選定作業を行います。

Ⅳ 参考資料 1

平成23年度 区編成予算(自主企画事業) 区別状況一覧

区名	自主企画事業費			区局連携事業			頁
	予算額	事業数	主な事業名	予算額	事業数	主な事業名 (局・事業本部名)	
鶴見	144,149 (12,923)	52 (3)	つるみの未来を育てる 保育所事業				23
神奈川	145,487 (19,098)	45 (3)	こども・青少年 元気づくり				24
西	122,453 (12,406)	45 (3)	西区の温故知新！ 魅力アップ検討事業	10,300 (10,300)	2 (2)	都心区における地域間移動の 交通施策のあり方検討 (都市整備局)	25
中	140,774 (7,105)	40 (8)	中区待機児童・虐待予防 対策事業	3,929 (3,929)	1 (1)	国際サービス員(中国語)の 新規配置(市民局)	26
南	137,142 (9,351)	50 (4)	南区待機児童対策事業				27
港南	141,361 (14,314)	37 (3)	地域で子育て応援事業				28
保土ヶ谷	142,180 (8,115)	44 (3)	こどもを守ろう！ 虐待防止ネットワーク事業				29
旭	146,042 (13,473)	52 (3)	すくすく子育て・親育ち 応援事業	4,300 (0)	1 (0)	旭区図書取次サービス事業 (教育委員会事務局)	30
磯子	125,437 (12,328)	54 (3)	第2期磯子区地域福祉保健計画 「スイッチON磯子Ⅱ」 推進事業				31
金沢	129,511 (1,860)	47 (2)	多文化共生推進事業	8,000 (5,000)	2 (1)	金沢文庫駅・金沢八景駅周辺地 区バリアフリー基本構想策定事 業(道路局)	32
港北	138,851 (23,172)	54 (4)	「ひとつプラン港北」 推進事業 ～港北区の地域福祉保健に関する計画～	3,578 (3,578)	1 (1)	新横浜駅南部地区のまちづくり の推進(都市整備局)	33
緑	122,742 (9,501)	42 (4)	災害に強いまちづくり 推進事業				34
青葉	151,642 (6,743)	51 (3)	青葉区健康長寿の まちづくり支援事業				35
都筑	125,911 (6,570)	25 (4)	都筑・ドイツ交流事業				36
戸塚	143,330 (5,289)	49 (3)	区民力発揮促進事業	7,000 (0)	1 (0)	行政サービスコーナーにおける図書 取次事業(教育委員会事務局)	37
栄	117,703 (16,276)	33 (4)	セーフコミュニティ事業	28,000 (10,000)	1 (1)	次世代交流ステーション交流 促進事業(こども青少年局)	38
泉	137,050 (12,869)	44 (3)	「地域主体の地域運営」 推進事業				39
瀬谷	128,634 (12,903)	28 (3)	支えあい家族支援事業				40
計	2,440,399 (204,296)	792 (63)	市民局 個性ある区づくり推進費 として計上	65,107 (32,807)	9 (6)		

・自主企画事業費の()は内数で、「中期4か年計画」等を踏まえて、当該年度に区で重点的に実施する事業費。具体的な事業名は、25ページ～42ページ中(重)と記載してあるもの。

・「区局連携事業」は、個性ある区づくり推進費の財源を活用し、局の協力を得て行う事業。事業所管局へ計上。

・区局連携事業の()は内数で、区からの提案に基づき、計上された事業費。

予算編成の考え方

～区民満足度のさらなる向上を目指して～

鶴見区では、区政運営方針を踏まえ、具体的な6つの重点政策分野を設定し予算編成を行いました。非常に厳しい予算状況ですが区民ニーズを的確に把握し、区民の生活向上につなげるという視点で、全事業について見直しを行い、経費節減と財源確保に取り組みながら、「親切」「正確」「迅速」な区民サービスの提供に努め、区民満足度の向上を目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：144,149千円

1 まちの安全・安心

21,955千円

風水害、地震などの災害時に備え、地域が主体的に行う防災啓発活動を支援し、地域防災力向上に向けた取組を推進するとともに、新型インフルエンザ等の感染症対策の啓発活動等を行います。

《主な事業》区民とともに考える防災啓発(重)、災害時要援護者救援システムづくり事業、感染症対策事業

2 子育て支援、福祉・保健

42,432千円

「鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)」に基づき、子育て中の区民への支援、子育て施設の交流や支えあいの福祉保健活動を推進します。

《主な事業》つるみの未来を育てる保育所事業(重)、つながろう・広げよう見守りの輪・和(重)

3 多文化共生

7,561千円

鶴見区は市内で2番目に外国人が多く居住している区です。「鶴見区多文化共生アクションプラン」に基づき、多文化共生を推進します。

《主な事業》多文化のまち・つるみ推進事業

4 環境、緑を感じるまち

8,500千円

区民や事業者と協働して、日常生活の中で気軽に地球温暖化対策や緑化に取り組める機会を増やします。

《主な事業》みんなでグリーンアップつるみ、鶴見温暖化対策スタートダッシュ事業

5 地域力の向上

27,749千円

区民、地域、事業者と協働して、地域活動への意識を高め積極的な参加を促進するため、鶴見区の魅力を高める取組を支援します。

《主な事業》区民活動等推進事業、つるみ・元気アップ事業

6 笑顔と感動の区づくり

35,952千円

鶴見区人材育成ビジョンに基づいて、区民や職員の満足度を高める取組(横断プロジェクト、職員が企画運営する提案型研修等)や窓口サービス向上の研修を行います。

《主な事業》「つるみ笑顔と感動!プロジェクト」等推進事業、鶴見区広報・広聴事業

予算編成の考え方

豊かな地域資産と地域力を活かし、「うるおい」と「にぎわい」を次世代につなぐ

神奈川区では、地域の特性を踏まえた課題に対応するため、「① こども・青少年元気づくり」、「② 生涯にわたる健康づくり」、「③ 安全・安心の地域づくり」を重点的取組とした上で、全体を以下の「予算の体系」に示す5つの柱に整理し、区民と共に考え、取組を進めていきます。

◆ 神奈川区の特性・課題 ◆

- ① 若い世代の人口増・流動が続いているため、子育て世代の生活支援要望が多い。
- ② 意識調査において、「生活上の心配ごとや困っていること」として「自分の病気や老後のこと」と「家族の健康や生活上の問題」が、ここ数年常に上位となっており、区民の関心の高さがうかがえる。
- ③ 高齢化率は全市平均を下回るものの、高齢化率が30%を超える地域があるなど、高齢化は確実に進んでおり、地域での支え合いが困難となることが懸念される。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】**合計：145,487千円****1 子育て・健康づくり****21,456千円**

区民のだれもが心豊かにいきいきと暮らせるよう支援します。

《主な事業》こども・青少年元気づくり(重)、生涯にわたる健康づくり(重)

2 安全・安心・セーフティネット**20,398千円**

区民生活の安全・安心のため、暮らしを守る備えとしくみづくりを行います。

《主な事業》安全・安心の地域づくり(重)

3 まちづくり・魅力アップ**16,536千円**

地域力をいかし、快適で活力が生まれる元気なまちを目指します。

《主な事業》神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

4 エコ活・まちの美化**19,451千円**

緑化等を行うことにより、まちの美化や地球温暖化対策を推進します。

《主な事業》緑化推進事業～神奈川区みどりアップ計画～

5 区民サービス・区役所運営**67,646千円**

正確・迅速に業務を遂行し、現場目線でぬくもりのあるサービスを提供します。

《主な事業》区民サービス向上事業

予算編成の考え方

～つながりを大切に 誰もが快適にすごせるまち 西区へ～

西区は、旧来の住宅地と横浜駅周辺の繁華街、みなとみらい地区を擁するまちで、既成市街地を中心に高齢化が進む一方、若い世帯をはじめとした新しい区民が増えており、また、多くの「企業市民」が活動し、たくさんの「来街者」も迎え入れています。

こうしたことから、これまで深めてきた「つながり」を大切にしながら、「新旧住民のつながり」「企業市民と地域社会とのつながり」「新しいまちと既成市街地との人的・空間的なつながり」づくりを進め、まち全体としての心地よさや一体感を醸成し、誰もが快適に安心してすごしていくことができるよう施策を展開していきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：122,453千円

1 つながりを深め、広げるまちづくり

20,163千円

新たに「新旧住民」「企業市民と地域社会」「新しいまちと既成市街地の空間」のつながりづくりを進めます。

《主な事業》にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン(西区地域福祉保健計画)の推進、新住民等意識調査事業(重)

西区の温故知新!魅力アップ検討事業(重)、ふるさと西区魅力発信事業

2 誰にもあたたかなまちづくり

15,443千円

子育て支援のさらなる充実、地域で高齢者を支える取組の拡大、障害のある方と地域との交流促進など、誰もが安心・安全に暮らせる仕組みづくりを進めます。

《主な事業》地域子育てサロン開設支援事業、区役所キッズスペース運営事業、地域で見守りあんしん事業、障害のある人の住みやすいまちづくり事業

3 活力とうるおいが調和したまちづくり

27,177千円

地域・企業と連携した緑化の推進、脱温暖化行動の普及、まちの美化など快適な環境づくりを進めます。

《主な事業》西区緑づくり事業(重)、西区「温暖化ストップしようエコしよう」区民運動推進事業、

西区きれいなまちづくり推進事業

4 安全に暮らせるまちづくり

5,912千円

防災、防犯、食中毒対策などについて、西区の特性に応じた危機管理施策を展開します。

《主な事業》西区自治会・町内会館耐震診断支援事業、安心して暮らせるまちづくり推進事業、暮らしの衛生確保推進事業

5 区民の健康づくりの支援

6,539千円

区民が健康に暮らすことができるよう「ウォーキング」「食育」をはじめとした健康づくり施策を進めます。

《主な事業》西区ハマのウォーキングフェスティバル、ここから元気事業、つなげよう食育の「わ」事業

6 親しみのある区役所づくり

47,219千円

広報広聴、窓口対応の改善等を通じ、親しみのある区役所づくりを進めます。

《主な事業》広報充実事業、サービス改善推進事業

※参考【区局連携事業】

合計：10,300千円

- ・浅間コミュニティハウス廃止に伴う図書の暫定貸出(7,300千円、市民局)
- ・都心区における地域間移動の交通施策のあり方検討(3,000千円、都市整備局)

予算編成の考え方

「安全なまち、安心な暮らし、元気な中区」を実現します！

平成23年度は「共感と信頼」の市政の実現に向けた「横浜市中期4か年計画」の実質的な初年度であり、中区では「市民生活の安心・充実」、「子育て安心社会の実現」などを中心に、市政の第一線において区民の皆様の「安全なまち、安心な暮らし、元気な中区」を実現するための予算編成を行いました。

未だ厳しい財政状況の中、事業の整理・統合を行うとともに、現在策定中である中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！〔第2期〕」の着実な推進を図るため、地域のさまざまな団体や区民の皆様が、つながる「和」で子どもや高齢者、障害者等を見守り、また、子育て世帯が安心して子育てできる環境づくりのための事業予算を確保するなど、限られた財源で効果的な予算編成を行いました。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：140,774千円

1 こどもが健やかに育つ環境づくり

12,523千円

地域・家庭・学校・事業者等と連携協力して、こどもたちが健やかに育ち、安心して生活できる環境づくりに取り組みます。

《主な事業》中区待機児童・虐待予防対策事業（重）、次世代育成事業

2 高齢者・障害者など要援護者サービスの充実

40,239千円

高齢者・障害者などの要援護者サービスの充実を図り、誰もが地域の支えあい助けあいにより安心して暮らしていけるよう取り組みます。

《主な事業》「中区みんなで小さなおせっかい宣言」事業（重）、ことぶき・すこやかスマイルタウン事業

3 地域の知恵と力を活かした防犯力・防災力・安全力の向上

14,251千円

地域との協働により、防犯力・防災力の向上に取り組み、安全なまちを実現します。

《主な事業》初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業（重）、安全なまち・防犯対策推進事業

4 親しまれ、信頼される区役所づくり

45,664千円

区民にとって最も身近な行政機関として、お客様に満足して頂き信頼される区役所を目指します。

《主な事業》多言語広報事業、感動区役所推進事業

5 地域資源と市民の力による地域の活性化

20,474千円

地域が主体となったまちづくりに取り組み、元気な中区を実現します。

《主な事業》中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業、エコ・食・暮らし安心風土広め隊、なか国際交流ラウンジ運営事業

6 行政・区民の連携によるまちの美化・環境対策の推進

7,623千円

区民・学校・事業者・行政が一丸となって脱温暖化の取組を推進するとともに、まちの美化に取り組みます。

《主な事業》花いっぱい明るいまち事業、地球温暖化対策事業

※参考【区局連携事業】

合計：3,929千円

・国際サービス員（中国語）の新規配置（3,929千円、市民局）

予算編成の考え方

厳しい財政状況をチームワークで乗り越えて、

「あったかい」まちをつくります。

南区の特色である下町の「あったかい」人間関係をいかし、誰もが暮らしやすく ぬくもりを感じることで
できる南区を目指します。厳しい財政状況の中、職員が一丸となってチームワークを発揮し、区の課題解決
に挑戦します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：137,142千円

1 安全で安心して暮らせるまちづくり

17,269千円

地域の防災力・防犯力を高め、区民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

《主な事業》災害時要援護者支援事業(重)、南区住宅耐震力向上促進事業、街の安全・私の安全支援事業

2 誰もがいきいき暮らせるまちづくり

71,406千円

安心して子育てができる環境づくりを進めるとともに、高齢者や障害者をはじめ、様々な立場の区民が
いきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

《主な事業》南区待機児童対策事業(重)、子育て支援事業(重)、南区自殺対策事業、南区お元気高齢者サポート事
業、みなみ多文化共生ラウンジ運営費

3 快適な生活環境を創出するまちづくり

15,807千円

地域で快適に暮らすことができる環境づくりを進めるとともに、地球にやさしいまちづくりを進めます。

《主な事業》区の花「さくら」普及啓発事業(重)、地球にやさしい緑の南区推進事業、3R推進事業、太陽熱利用
給湯システム設置事業

4 信頼される区役所づくり

32,660千円

職員一人ひとりが区民目線に立ち、区民から信頼される「あったかい」区役所づくりを進めます。

《主な事業》改革推進事業、広聴広報相談事業、南区の魅力紹介事業

予算編成の考え方

ひとがつながる ふるさと港南 まちづくり

平成23年度は、「市政運営の基本的な考え方」や「中期4か年計画」を踏まえ、「地域のつながりづくり」の最前線にいる区役所としての取組を進めます。

港南区は、区民活動が盛んであり、これまでも、防災・防犯、福祉・保健、子育て支援、環境など幅広い分野において、区民が主体となった様々な取組が各地域で展開されています。こうした区民の力を一層いかすため、区民が生き活きと地域活動に取り組めるよう応援するとともに、地域や世代、分野を超えたつながりづくりに取り組むことにより、区民と一体となって「明るく」「元気な」ふるさと港南づくりを目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：141,361千円

1 子育て支援と青少年育成の充実

21,611千円

より身近な場所での総合的な子育て支援と、次代を担う青少年が活動できる機会の創出や地域との連携を強化します。

《主な事業》地域で子育て応援事業(重)、こども未来応援事業、保育園魅力アップ事業

2 安全安心なまちづくり

14,828千円

区民が自主的に行う防災・防犯活動等の支援や、通学路や生活道路の安全確保を推進します。

《主な事業》災害に強いまちづくり事業(重)、安全安心まちづくり推進事業、通学路カラー舗装化事業

3 地域のつながりづくり支援

33,025千円

自治会・町内会活動や福祉保健活動など地域の様々な活動や人のつながりづくりを支援します。

《主な事業》地域福祉保健活動推進事業(重)、地域カステップアップ事業、みんなでつくるふるさと港南事業

4 地域の元気・活力アップ

14,723千円

区民が主体となった健康づくりやスポーツ・文化活動など地域でくらす人々の活力づくりを支援します。

《主な事業》港南ヘルスアップ事業、スポーツ活動支援事業、元気なまちの土台づくり支援モデル事業

5 よりよい環境づくり

12,669千円

地域と関係機関が一体となって、温暖化対策やゴミの削減などをとおして、よりよい環境づくりに取り組みます。

《主な事業》省エネ・脱温暖化事業、ヨコハマ3R夢！推進事業、うるおいのある美しい街づくり事業

6 区民満足度の向上

27,766千円

区民ニーズを把握し区政に反映します。

《主な事業》こうなん区政推進事業、わかりやすい情報提供事業

7 来庁者の快適度の向上

16,739千円

来庁者サービスの向上に取り組みます。

《主な事業》総合案内充実事業、快適区役所推進事業

予算編成の考え方

いつまでも住み続けたいまち 保土ヶ谷 の実現をめざして

「東海道の宿場として歴史のあるまち」、「ふたつの川が流れ、坂の多いまち」などの地域特性と、窓口や地域で把握した区民ニーズを踏まえて、5つの重点項目を設定し、予算編成を行いました。

平成23年度は、「こども」と子育てを担う「親」、そして子育てを支える「地域」の絆の強化に取り組むとともに、「足を運んでよかった」と言われる区役所の実現を基本的な考え方とし、「こども」・「まち」・「窓口」をキーワードに「いつまでも住み続けたいまち保土ヶ谷」の実現を目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：142,180千円

1 防犯・防災をはじめとした安全・快適なまちづくり

26,560千円

がけが多い街です。地域が持っている力を取り戻して、安全で快適に暮らせるまちづくりを進めます。

《主な事業》災害対策推進事業、交通安全対策事業

2 支えあいの実践から始まる安心なまちづくり

21,928千円

高齢化が進んでいます。一方で、こどもへの虐待が増えています。支えあいの仕組みづくりに取り組み、身近な地域で暮らしやすいまちづくりを進めます。

《主な事業》こどもを守ろう！虐待防止ネットワーク事業(重)

パパ・ママ・みんなで行こう！健康診査推進事業(重)

3 脱温暖化に向けた環境行動の実践

8,763千円

地球温暖化を防ぐための対策が求められています。省資源・省エネルギー、緑化など、家庭や地域での環境行動を進めます。

《主な事業》ほ도가やエコ活。推進事業、きれいな街ほ도가や事業

4 魅力と活気にあふれるまちづくり

33,492千円

「歴史あるまち ほ도가や」。「文化」や「福祉」など、さまざまなテーマで活動している団体や「人」と「人」を結び、愛着と誇りあふれるまちづくりを進めます。

《主な事業》花がたえないきれいな公園づくり事業(重)、「輝け、地域力！」事業

5 信頼され、親しまれる身近な区役所づくり

51,437千円

「喜ばれることに喜びを」。分かりやすく丁寧な説明、迅速な対応。区民のご要望を自分のこととして受け止められる職員を育て、信頼され親しまれる区役所づくりを進めます。

《主な事業》職員が誇れる区役所づくり強化事業、税務課窓口改善事業

予算編成の考え方

「安心して、健やかに、暮らし続けられる

わがまち・ふるさと旭区」を目指します。

旭区の平成23年度個性ある区づくり推進費の予算編成にあたっては、「平成23年度予算編成スタートにあたっての市政運営の基本的な考え方」を踏まえ、区政運営の基本目標である「安心して、健やかに、暮らし続けられる わがまち・ふるさと旭区」のまちづくりを進めるため、タウンミーティングや市民意識調査などによる、子育て支援、高齢者福祉及び地域防災などの地域ニーズに応えられるよう、『いきいき元気なまちづくり』及び『支えあう「安心」づくり』を柱とした事業に重点を置いて取り組みます。

また、『環境実践まちづくり』として、環境に配慮した施策にも取り組みます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：146,042千円

1 いきいき元気なまちづくり

94,303千円

多くの元気な高齢者の方々が、より健康で充実した生活を送れるための事業に取り組みます。

また、未来を担っていく子どもたちが健やかに成長できる環境づくりや、養育者が安心して子育てできる環境をつくるため、子育て支援に関する事業に取り組みます。

さらに、地域の課題を解決するため、地域の多様な活動主体と協力しあって、元気なまちづくりを推進します。

《主な事業》すくすく子育て・親育ち応援事業(重)、青少年健全育成事業

2 ささえあう「安心」づくり

42,767千円

一人暮らし高齢者や、高齢者のみの世帯等の暮らしを、地域で支え合うための高齢者福祉事業に取り組みます。

また、災害への不安を解消するため、防災に関する事業に取り組みます。

《主な事業》高齢者と地域のつながり事業(重)、災害に強い区づくり事業(重)

3 環境実践まちづくり

8,972千円

温暖化が地球規模での課題となっている中、旭区においても温暖化対策を進めていくため、省エネルギー、CO2削減に関する事業に取り組みます。

また、ごみの減量化・資源化の更なる推進や、水と緑に恵まれた旭区の特性をいかした取り組みを実施します。

《主な事業》旭区エコライフスタイル推進事業、LED灯推進事業

※参考【区局連携事業】

合計：4,300千円

・旭区図書取次サービス事業(4,300千円、教育委員会事務局)

予算編成の考え方

地域の人たちとともにつくる 暮らしやすさを実感できるまち・いそご

平成 23 年度は、職員の一人ひとりが「日常の業務を通じて区民のニーズを的確に把握すること」「地域の自主的な取組を引き出し、地域とともに課題の解決に取り組むこと」に重点を置いて予算を編成しました。

区民からのニーズが高い高齢者の見守り、地域の支え合いや子育て支援の取組を推進するとともに、磯子区の特徴・財産である地域のつながりや地域力・区民力がより強化され充実するよう、区民とともに取り組んでいきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】**合計：125,437千円****1 誰もがいきいきと安心して暮らせる福祉保健の充実****19,814千円**

第2期地域福祉保健計画に基づき、すべての地区で取り組む「地域の支え合い」と「災害に備えた要援護者の地域でのサポート体制づくり」を推進し、区民の健康促進及び地域団体の健康づくり活動を支援します。

《主な事業》第2期磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子Ⅱ」推進事業(重)、高齢者みんなで支えるまちづくり事業、チャレンジ「健康磯子21」

2 地域とともに取り組む安全・安心を実感できるまちづくり**12,745千円**

地域における災害時に備えた取組や災害ボランティア団体の活動を支援するとともに、地域や学校が自主的に取り組む防犯活動の支援や防犯に関する啓発を行います。

《主な事業》地域防災推進事業、いそご地域・学校防犯力強化事業

3 未来を担う子どもたちを健やかに育む環境づくり**14,347千円**

子育てに関する啓発事業を行うほか、親同士の交流を進めます。また、地域が取り組む青少年健全育成活動の支援を行います。

《主な事業》子育て応援推進事業(重)、子育て人材養成サポート事業、地域・青少年元気推進事業

4 一人ひとりが主役の磯子の魅力・活力アップ**66,953千円**

自治会町内会をはじめとする地域の様々な団体やボランティア団体の活動を支援します。また、磯子区の魅力を発信するとともに、地域活動の担い手を育成します。

《主な事業》地域力アップ事業(重)、「区民のちから」発揮・活用事業、広報よこはま磯子区版発行事業

5 地域に広がる環境行動の推進**11,578千円**

「脱温暖化行動」「ごみの減量化・発生抑制の更なる推進」を図り、みどりの保護育成活動の支援に取り組めます。

《主な事業》いそごECOアクション2011、磯子区「ヨコハマ3R夢プラン」推進事業、グリーンサポーター事業

予算編成の考え方

「海と緑のハーモニータウン金沢」を区民との協働で

「優しさと思いやり」あふれるまちに

本市の財政状況については、急激な景気回復が見込めない中、昨年度と同程度の一般財源収入の見通しであり、非常に厳しい状況です。平成 23 年度の予算編成にあたっては、このような財政状況を踏まえながら、既存事業の廃止・見送り、経費の削減等の見直しを昨年度に引き続き行いました。

一方、金沢区の基本目標を達成させるため、中期 4 か年計画に掲げられている施策や区民ニーズ、地域での自助・共助の仕組みづくり、地域特性を踏まえた優先度の高い事業について重点的に予算編成を行い、更なる区民満足度の向上を図ります。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：129,511千円

1 区民の皆様と一緒にすすめる施策

(1) 安全・安心への思いやりあふれるまちづくり 17,131千円

防犯対策や防災・災害対策を強化させるため、地域での自助・共助の仕組みづくりを促進します。

《主な事業》防災関連事業、セーフティ・タウンかなざわ推進事業(防犯関連事業)、
人と動物が安全快適に暮らせる街づくり事業(重)

(2) 未来の環境への思いやりあふれるまちづくり 7,723千円

脱地球温暖化行動をすすめるため、区民・事業者の皆様への環境に配慮した活動を促進し、区内における脱地球温暖化行動の輪を広げます。

《主な事業》金沢区 E C O 推進事業、金沢区公園愛護会「緑の環境リーダー」事業

(3) 金沢で暮らす人同士の思いやりあふれるまちづくり 22,914千円

第 2 期金沢区地域福祉保健計画をすすめるとともに、地域で暮らす高齢者・障害のある人への理解向上や活動のサポート、安心して子育てしやすい環境づくりに取り組みます。

《主な事業》多文化共生推進事業(重)、子育て応援事業、金沢区福祉保健活動促進事業

(4) 金沢の特徴を活かした思いやりあふれるまちづくり 35,466千円

鎌倉時代以降の歴史的遺産の活用や 2 つの総合大学との連携等、金沢区の特徴をいかした歴史と文化あふれるまちづくりをすすめます。

《主な事業》地域ネットワークづくり支援事業、Campus Town Kanazawa 推進事業、金沢観光拠点運営事業

2 区役所サービスの品質向上

来庁される人への思いやりあふれる区役所づくり 46,277千円

更に信頼され親しまれる区役所となるよう、「金沢まごころ運動」(窓口対応等における区民の皆様への満足度向上を目指した取組)をすすめます。

《主な事業》「区民サービス」推進事業、区民意識調査事業

※参考【区局連携事業】

合計：8,000千円

- ・金沢文庫駅・金沢八景駅周辺地区バリアフリー基本構想策定事業(3,000千円、道路局)
- ・世界遺産登録観光施策策定費(5,000千円、経済観光局)

予算編成の考え方

暮らしやすく活気にあふれる「ふるさと港北」を区民とともにつくります。

「最小限の予算で最大限のおもてなしを実現する」ことを主眼に予算編成を行い、次の5分野を施策の柱として事業に取り組み、「暮らしやすく活気にあふれる『ふるさと港北』づくり」を区民とともに進めてまいります。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：138,851千円

1 地域で支え合う福祉のまちづくり

38,255千円

誰もが健康で安心して暮らせる福祉のまちづくりと、地域で支え合う仕組みづくりを進めるとともに、市内で最も多い待機児童の解消に向けた対策や児童虐待防止対策などに重点的に取り組みます。

《主な事業》「ひっとプラン港北」推進事業～港北区の地域福祉保健に関する計画～(重)、港北元気っ子事業(重)

2 安心して暮らせる地域社会

21,165千円

行政、地域、防災関係団体が連携して震災や風水害に備えるとともに、食中毒や感染症等の健康危機管理などへの対策を進め、安心して暮らせる社会の実現を目指します。

《主な事業》災害に強いまちづくり推進事業、港北AAA(安全で安心な明日を)地域防犯力向上作戦

3 港北エコアクションの推進

7,079千円

区民がより身近なところで環境について学び、感じる事ができ、自主的・主体的な脱温暖化行動に繋がっていきけるよう、区役所・区民・事業者が協働して、区を挙げた脱温暖化行動を推進していきます。

《主な事業》港北エコアクション推進事業

4 区民とともに進めるまちづくり

35,362千円

港北区の魅力である豊かな自然環境や都心としての機能、地域人材などの資源を存分にいかし、区民が主体となって身近な地域課題の解決や魅力向上に取り組めるよう、地域支援を進めます。

《主な事業》地域力向上支援事業(重)、鶴見川を活かした魅力あるまちづくりプラン(重)

5 組織力・職員力の発揮による住民サービスの向上

36,990千円

職員の「聴く力」「考える力」「行動する力」「伝える力」の「4つの仕事力」を高め、職員一人ひとりが行政のプロとして業務を担うことにより、質の高い行政サービスを提供し、区民満足度の一層の向上に繋がります。

《主な事業》福祉保健センター窓口サービス改善評価事業、人材育成のための研修事業

※参考【区局連携事業】

合計：3,578千円

・新横浜駅南部地区のまちづくりの推進(3,578千円、都市整備局)

予算編成の考え方

～安全・安心でみんなにやさしいまちづくりの実現に向けて～

平成23年度は、安全・安心でみんなにやさしいまちづくりの実現に向けて着実に成果を積み上げ、その成果が区民に実感できる年にすることを目指します。区民の皆様とともにまちづくりを進めていくことを基本に、「安全・安心なまちづくり」「いきいき暮らせるまちづくり」「みどりの魅力あふれるまちづくり」の3つの項目を核として、地域力の強化を支援していきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：122,742千円

1 安全・安心なまちづくり (災害に強い緑区)

11,660千円

防災・防犯等について、地域の特性に応じた区民の主体的な取組を支援し、緑区全体の危機管理能力を高めます。特に地域防災の人的ネットワーク構築や地域での災害に備える施策を積極的に進め、引き続き区民と協働して「災害に強い緑区」づくりをすすめます。

《主な事業》災害に強いまちづくり事業(重)、子どもの安全支援事業、交通安全対策事業

2 いきいき暮らせるまちづくり

29,429千円

お年寄りや体の不自由な方、子育て中の方など、誰もが安心して健康に暮らせる地域社会を目指し、高齢社会への対策や、子育てに対する不安や負担の軽減、障がい児・者の自立支援や社会参加の促進に向けて取り組みます。

《主な事業》共に支えあう福祉保健の地域づくり事業(重)、みどり安心子育てネットワーク事業(重)、地域課題チャレンジ提案事業

3 みどりの魅力あふれるまちづくり

38,691千円

自然豊かな緑区の特性をいかした魅力あふれるまちづくりに向け、地域の農業や商業、芸術・文化活動等を通じて、区民一人ひとりがその魅力を実感できる取組を進めます。

《主な事業》みどり！まるごと応援事業(重)、緑・芸術文化事業、子ども達の夢の緑区推進事業

区役所事務運営費の集約化

42,962千円

各事業における事務運営費を集約化することで、効率的な執行管理を行います。

予算編成の考え方

住みつづけたいまち「青葉」をめざして

青葉区では、『住みつづけたいまち「青葉」』を予算編成の大きな方針とし、次の5項目を柱として予算編成を行いました。そのうえで、区民ニーズ等に対応し、「青葉区らしさ」を大切にしながら青葉区の持つ強みをいかした事業を実施します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：151,642千円

1 こどもも大人も安心できるまち

44,117千円

「犯罪・治安」に関する不安を解消し、地域の安全・安心にむけた取組を進めます。また、安心して子育てできる環境を整えます。

《主な事業》地域の防災力強化事業、ママパパ応援ホッとひといき事業、地域安全支援事業

2 自然と生活環境の調和がとれたまち

16,423千円

省エネや3Rに関する啓発を進めることで自然環境に配慮しつつ、青葉区の大きな魅力である洗練された街並と、緑の多い良好な住環境を維持・発展させ、さらに素敵な生活環境づくりに取り組みます。

《主な事業》青葉区花いっぱい運動事業、3R推進事業、「丘のエコハマ」省エネ大作戦事業

3 福祉を充実し、健康づくりを応援するまち

22,624千円

生活習慣病予防や禁煙促進などに取り組むとともに、罹患率が年々増加している子宮頸がんなどに対する啓発を実施するなど、さらに「健康・長寿のまち」となるよう応援します。

《主な事業》青葉区健康長寿のまちづくり支援事業(重)、がん検診受診率向上事業

地域福祉保健ステップアップ事業

4 「住んでよかった」を実感できるまち

49,021千円

テレビやFM放送などのメディアや広報よこはま青葉区版などにより、区民の皆様に対し、様々な形で情報発信を行います。

また、区民の皆様がより利用しやすくなるよう、施設の環境改善を行います。

《主な事業》いごこちの良い公共施設づくり(重)、メディアによる広報事業

広報よこはま青葉区版発行业・特別相談事業

5 暮らしに潤いのあるまち

19,457千円

基本的な住民サービスだけでなく、区民の皆様が潤いある暮らしを送ることができるようスポーツ、文化にかかわる事業を実施します。

また、横浜市や青葉区への“ふるさと意識”を高めることを目的とした事業を展開します。

《主な事業》「地元・ヨコハマ」もっと愛着事業(重)、地域スポーツ振興事業、芸術文化振興事業

予算編成の考え方

“～区民とともに 地域とともに～ ともに育つまち つづき”

都筑区は、平成 6 年の区誕生以来、人口増加が続き、平成 22 年 4 月 6 日に 20 万人に到達しました。区民の平均年齢は 18 区で最も若く、子育て世代が多いという特徴があります。また、区内に、市内有数の農業地域工業地域さらには大規模商業施設を有するとともに、緑道や公園など豊かな自然環境にも恵まれています。

こうした区の特徴を踏まえ、さらなる発展ができるよう、平成 23 年度予算においては『子育て支援の充実』『区内産業の活性化』『地域のつながり強化』『環境行動の推進』を重点事業として取り組みます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：125,911千円

1 子育て支援、福祉・保健の充実

36,125千円

妊娠期からの子育て支援やこども・青少年の健全な育成を図るとともに、地域の幅広い福祉保健活動を支援することなどによる支えあいのまちづくりを進めます。

《主な事業》保育園「学びと体験」応援モデル事業(重)、第2期「つづき あい」推進事業

2 活力あふれるまちづくり

28,747千円

自治会町内会の加入促進、文化・スポーツ・市民活動や区内産業への支援などを通して、市民活動や区内産業の活発化を図り、活力があるまちづくりを進めます。

《主な事業》都筑・ドイツ交流事業(重)、メイドインつづき推進事業(重)、自治会町内会加入促進事業

3 快適で暮らしやすいまちづくり

16,640千円

低炭素社会の実現や、横浜スマートシティプロジェクト推進の一環として、電気自動車の導入に取り組むとともに、区庁舎に設置されている太陽光パネルを活用した電気自動車の充電施設の整備を検討します。

また、地域の皆様が行う道路や公園・緑道の美化活動に対する支援を行うなど快適に暮せるまちづくりを進めます。

《主な事業》つづき温暖化対策推進事業(重)、つづき緑アップ推進事業、クリーン・ヨコハマ3R夢(スリム)推進事業

4 安全・安心なまちづくり

12,372千円

区内の危機管理体制を整えるとともに、地域の防犯力、防災力向上のための支援体制を整え、区民が安心して暮せるまちづくりを進めます。

《主な事業》都筑区危機管理対策推進事業、地域防犯活動推進事業

5 区民満足度向上に向けた区役所の取組

32,027千円

区民満足度向上のため、区民への積極的な情報提供、窓口サービスの改善を行います。

《主な事業》区民への情報提供事業、区民広聴相談事業、区役所運営・改善推進事業

予算編成の考え方

「ともに つながる 活気ある とつか」

地域の様々な課題の中には、地域の住民や団体の主体的な取組によって解決できるものが数多くあり、その取組には「地域のつながり」が不可欠になります。

課や分野の枠を越えて、地域の目線に立ち、「地域のつながり」のあるべき姿が何かを考えることとし、その「つながり」づくりに必要な施策に取り組み、戸塚区運営方針の「ともに つながる 活気ある とつか」を実現してまいります。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：143,330千円

1 住民同士のつながり ～地域力の発揮支援～

49,416千円

多様化・複雑化している地域課題の解決に向けた地域のつながりづくりを支援するため、地域活動団体の交流・連携の促進や情報提供・活動支援などを行います。

《主な事業》区民力発揮促進事業(重)、とつかハートプラン(戸塚区地域福祉保健計画)推進事業

2 親子とのつながり ～地域ぐるみの子育て支援～

18,636千円

地域子育て支援拠点と協働し、親子サークルのネットワーク化の促進を図るなど、子育て支援を展開します。また、地域の見守りによる児童虐待の予防、早期発見につなげます。

《主な事業》地域子育て応援事業、子育て当事者ネットワーク事業(重)、子どもを取り巻く虐待予防環境づくり事業

3 高齢者や障がい者とのつながり ～暮らしの安心への支援～

5,137千円

自治会・民生委員等の地域の皆様や、警察・消防、企業等の関係機関と連携を図り、高齢者などの見守り体制を強化し、孤独死等の防止につなげます。

《主な事業》ケアプラザと連携した見守りネットワーク構築モデル事業(重)、戸塚区地域ネットワーク訪問事業

4 防災・防犯力の強化 ～地域と連携して備える

18,731千円

災害時の要援護者支援体制づくりや防犯拠点づくりなど、地域で取り組む活動への支援などを行います。

《主な事業》地域防災力強化事業、防犯力強化事業

5 行政サービスの向上

51,410千円

区民の皆様の立場に立った行政運営を推進し、行政サービスの向上を図ります。

《主な事業》広報事業の充実、とつかスタイル予防接種事業

※参考【区局連携事業】

合計：7,000千円

・行政サービスコーナーにおける図書取次事業(7,000千円、教育委員会事務局)

予算編成の考え方

「みんなが主役の元気なまち・栄区」
～誰もが暮らしやすく、活力あるまちを目指して～

計画2年目に入る「栄区まちづくり行動計画」、「第2期 栄区地域福祉保健計画」を着実に推進するとともに、安全で安心して暮らせるまちづくり「セーフコミュニティ」活動を、平成24年度のWHO（世界保健機関）の認証に向け、区内の様々な団体をはじめ区民の皆様との協働で推進してまいります。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】 合計：117,703千円

1 栄区の活発な区民活動をつないで、さらに豊かで安全なまちへ 35,343千円

安全・安心なまちづくりの新たな手法「セーフコミュニティ」活動を実践する取組をはじめ、地域医療体制の充実、活発な栄区の区民活動の横のつながり、連帯に重点を置き、健康で安全な暮らしのための区民活動を支援します。

《主な事業》セーフコミュニティ事業（重）、地域医療推進事業（重）、区民活動支援事業（重）、シニア“元気&ライフ”支援事業

2 若者を呼び戻し、活力・活気と元気がつながる魅力あるまちへ 35,894千円

子育てしやすいまちづくりを推進し、まちの魅力アップにつながる取組をはじめ、支えあいで活力あるまちづくりに取り組みます。

《主な事業》みんなで育てる明日の担い手事業（重）、本郷台駅周辺地区まちづくり推進事業、未来に羽ばたけ、さかえっ子事業、子育て支援事業

3 豊かな水・緑・自然環境を次世代へつなぐまちへ 7,845千円

栄区らしい「地球にやさしい取組」を着実に区民に拡げる取組をはじめ、栄区の財産「水とみどり」を区民とともに次世代に継承することに取り組めます。

《主な事業》地球にやさしいまち“栄”推進事業、3Rで未来に残そうやさしい地球事業、栄区農“know”事業

4 共感と信頼のある区役所～窓口サービスの一層の向上へ 38,621千円

横断的な体制で、柔軟に地域支援に取り組めます。また、おもてなしの心で区民に親しまれる区役所づくりを職員一人ひとりが継続・実践していきます。

《主な事業》広聴事業、親しまれる区役所づくり

※参考【区局連携事業】

合計：28,000千円

・次世代交流ステーション交流促進事業（28,000千円、こども青少年局）

予算編成の考え方

区民とともに歩む泉区政“元気の出る泉区づくり”

平成 23 年度は厳しい財政状況を踏まえ、すべての事業について徹底的に見直しを行いました。予算編成にあたっては、「地域主体の区政への転換」「地域主体の福祉力」「地域資源の最大活用」の 3 つの視点に立って、泉区独自の施策・事業を策定しました。重点施策として 6 つの柱を設定し、それぞれの施策を実現するために 44 事業の予算を計上しました。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：137,050 千円

1 地域主体の地域運営・街づくり

37,794 千円

地区経営委員会による自主的・主体的な課題解決に向けた取組やまちづくり活動拠点の整備、自治会町内会の情報発信を支援します。また、泉区地域協議会からの答申を受けた、第 2 期泉区地域福祉保健計画の推進に地域住民や関係団体と協働して取り組みます。

《主な事業》「地域主体の地域運営」推進事業(重)、自治会町内会情報発信支援事業

第 2 期泉区地域福祉保健計画推進事業、多文化共生事業、

2 泉区の魅力づくり・魅力の発信

7,307 千円

泉区ファーマーズマーケット“ハマッ子”を拠点に地産地消を促進するほか、高齢化、担い手不足に悩むハマッ子出荷登録農家のお手伝いを行う「泉区農業応援隊」の取組を推進します。また、地域資源である河川をいかした水辺魅力アップ事業を展開するとともに、泉区内に新規開業する事業者等の開業準備を支援します。

《主な事業》農を生かしたまちづくり事業、水・緑・みち魅力づくり事業、店舗開店支援事業

3 脱地球温暖化の推進

8,995 千円

泉区の貴重な財産である水や緑を維持・保全するとともに、脱地球温暖化の取組として校庭・園庭の芝生化を地域との協働でさらに推進します。また、ごみの減量化に地域と協働して取り組みます。

《主な事業》泉区の水や緑を守り創造する事業、泉区ごみ減量化推進事業、エコ体験・実感推進事業

4 安心・安全なまちづくり

24,487 千円

一人暮らし高齢者等の要援護者を見守り支え合うまちづくりを進めるため、モデル事業を引き続き展開するほか、災害時要援護者対策の推進に区民全体で取り組みます。また、防犯対策、交通安全などについて、地域の主体的な取組を支援し、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

《主な事業》一人暮らし高齢者等地域見守りモデル事業(重)、防災対策事業、地域安全まちづくり事業

5 子育てがしやすい環境づくり・女性が働きやすいまちづくり

9,909 千円

保育園を活用したプレパパママ講座の開催や親子の居場所づくりを進め、子育て支援に取り組みます。また、区内事業者や区民に対する啓発や職場復帰支援などの取組を通じて子育てがしやすい環境づくりや働きやすい職場づくりを支援する事業を展開します。

《主な事業》保育施設による子育て支援推進事業(重)、健やかいずみっこ子育て支援事業

女性の働きやすいまちづくり事業

6 元気ある区政運営に向けた取組

48,558 千円

区庁舎の窓口案内に区民の参画を得て、区民の目線からの提案を区政に反映します。

《主な事業》窓口ご案内ボランティア事業、区役所好感度向上事業

予算編成の考え方

～幸せが実感できる瀬谷づくり～

住み続けたいまち・瀬谷

瀬谷区の23年度予算は、既存事業について効果的・効率的な予算となるようゼロベースで見直しを行い、経費節減や終了事業等により捻出した財源を活用し、上記に掲げた区政運営方針の基本目標の実現に向け、中期4か年計画の基本政策のうち、特に「子育て安心社会の実現」「市民生活の安全・安心」を重視した予算を編成しました。

また、瀬谷区の実情である福祉的な課題への対応を強化しつつ、区庁舎の利便性の向上など、広く瀬谷区民の満足度を高める取組の充実を図りました。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：128,634千円

1 未来を担う子ども・青少年育成の支援

14,962千円

地域で子どもを生み育てやすい環境づくりを進めるとともに、瀬谷区的环境をいかした青少年の育成などに取り組みます。

《主な事業》次世代育成支援事業(重)、一時保育を利用した待機児童対策

2 福祉的支援のニーズの多様化・複雑化への対応

26,874千円

様々な課題を抱える家庭を地域で支える仕組みづくりを行うとともに、住みなれた地域で安心して暮らすことができるよう健康づくりなどに関する啓発活動等に取り組めます。

《主な事業》支えあい家族支援事業(重)、みんなで進める健康せや

3 安全・安心のまちづくり

12,040千円

地域との協働による安全な暮らしを実現するとともに、災害や感染症等の危機管理体制を充実などに取り組みます。

《主な事業》まちの安全支援事業、災害等対策事業

4 魅力的な環境・区民活動の活力を未来へ継承

32,729千円

地域と連携を図りながら温暖化防止に向けた環境行動に取り組むとともに、区民の地域活動や文化・スポーツ活動等の支援などを行います。

《主な事業》せやの魅力発信・幸せ実感事業(重)、区民活動支援事業

5 地域からの信頼に応えられる区役所

42,029千円

地域からの信頼や期待に応えられる区役所を実現するため、地域ニーズの把握や地域特性に応じたきめ細やかな支援を行うとともに、職員が力を発揮しやすい職場づくりなどに取り組みます。

《主な事業》瀬谷区証明発行サービス事業、広報・広聴連携事業

V 参考資料 2

平成 22 年度からの繰越事業（繰越明許費）

スポーツ振興費（3 款 1 項 6 目）

○スポーツ施設管理運営費

繰越明許費設定額 23,000 千円

東日本大震災により罹災した横浜文化体育館及び横浜国際プールについて、平成 23 年第一回市会定例会において、施設の修繕の増額補正とともに、繰越明許費の補正を行いました。

この 2 施設について、罹災した施設を一刻も早く復旧させるため、所要の予算額を計上したものの、震災の発生が年度末であったことから、平成 22 年度中に工事を完了することが困難であったため、繰越明許費として設定いたしました。

この 2 施設の修繕工事についても、23 年度に行う事業となります。

- 1 横浜文化体育館 繰越明許費設定額 13,000 千円
施設外周の陥没部分の復旧及び施設壁面の破損したガラスの復旧
- 2 横浜国際プール 繰越明許費設定額 10,000 千円
サブプール可動式の床の補修

対象事業の執行状況

項 目	平成22年度 補正予算額	平成22年度 執行見込額	差 引	平成23年度 への繰越額
横浜文化体育館	13,000	0	13,000	13,000
横浜国際プール	10,000	0	10,000	10,000
合 計	23,000	0	23,000	23,000

